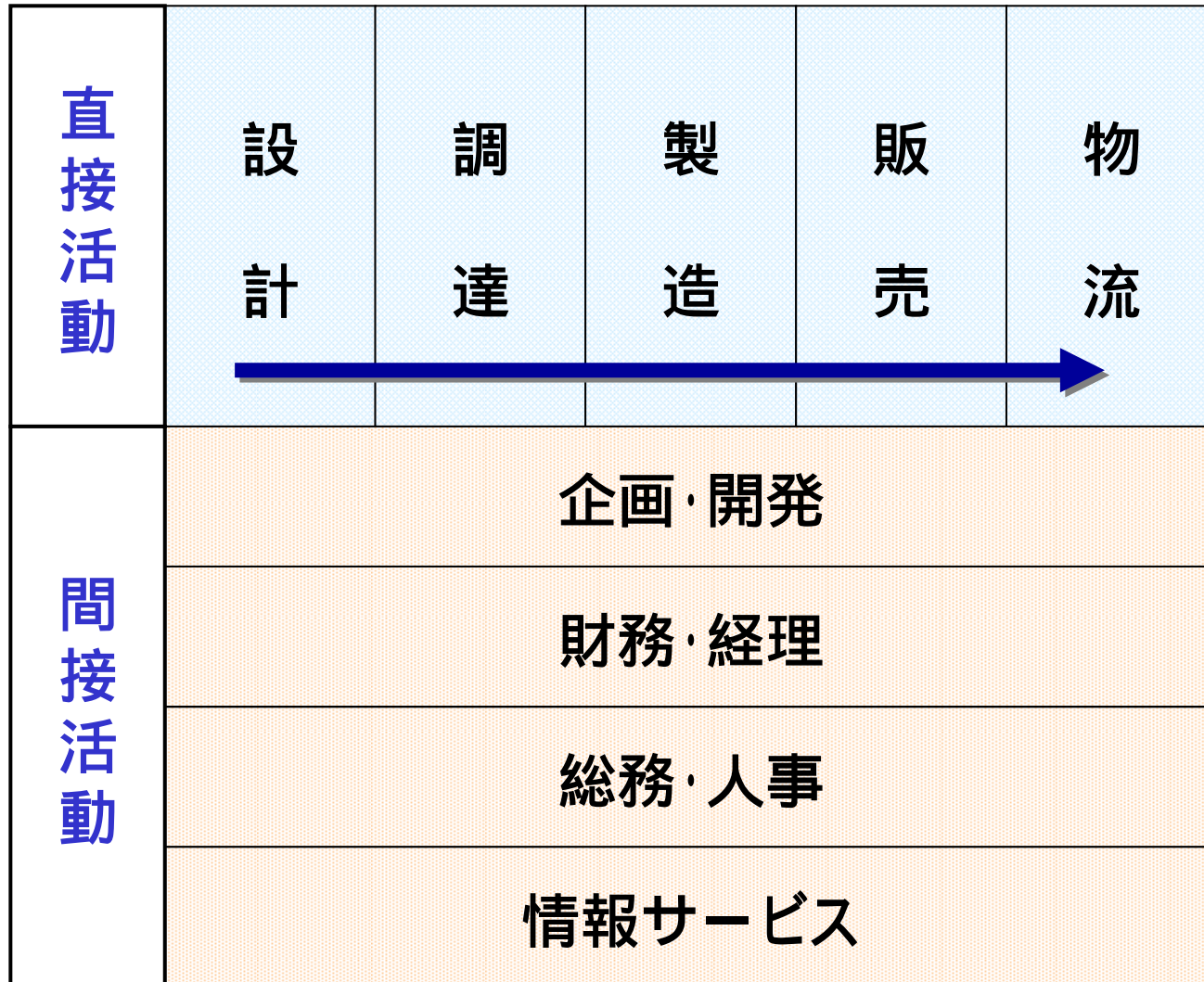


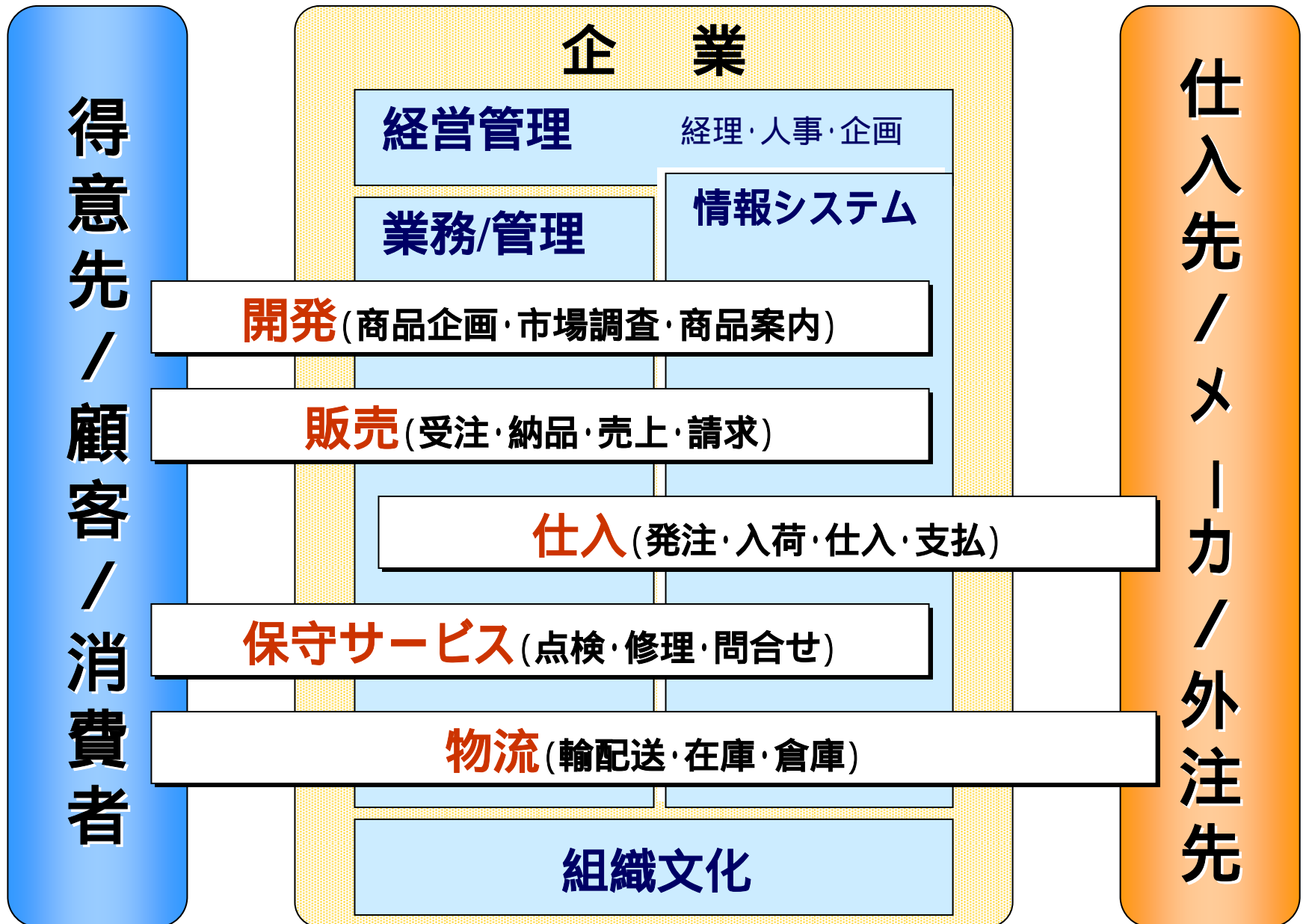
企業の仕組み

1. 企業活動
2. 企業と業務
3. 企業の存立
4. 企業と業界・社会
5. 業務の基本
6. 管理の目的
7. 企業の業務と業界・社会

1. 企業活動



2. 企業と業務



3. 企業の存立

販売できる商品がある。 (形のあるもの、ないもの)

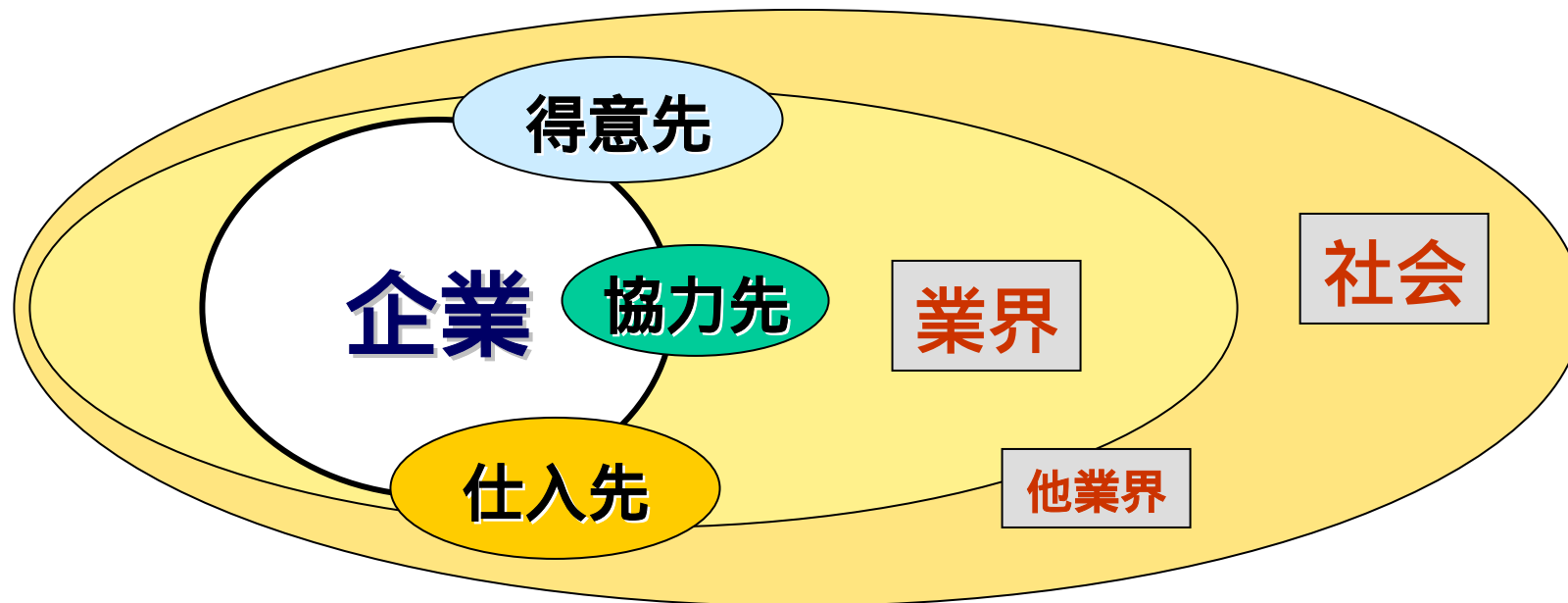
ルールに基づく取引先がある。 (販売・仕入…)

方針・計画を実現させる経営管理がある。

扱い商品・取引・管理に応じた業務がある。

情報システムが業務の中枢を担っている。

4. 企業と業界・社会



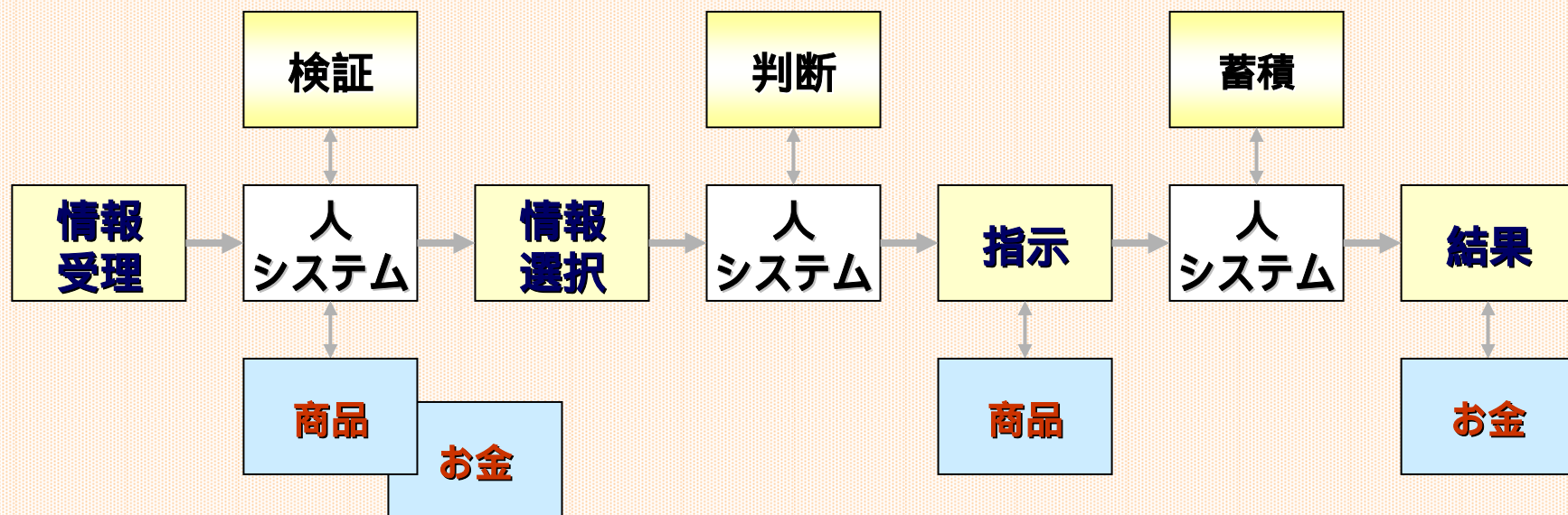
企業は「業界・社会」からの制約を受けている。

業界 - - 受注種類、販売価格、納品伝票、売上返品、請求締め、仕入単価、その他

社会 - - 消費税、財務諸表、製造物責任(PL法)、中小企業保護、労働関連法、環境保護...

5. 業務の基本

業務のあり方



業務は、経営資源(人・モノ・金・情報)の活用である。

業務は、情報の受理・選択・指示・結果の利用でもある。

業務は、情報に対する人・システムによる検証・判断・蓄積であり、その結果で商品・お金を動かしている。

6. 管理の目的

業務における管理は、次のような目的と主な内容である。

利益 - - - **経営としての利益確保へ貢献する。**

- ・ 売上増
- ・ 費用減 (作業、物流、情報システム……)
- ・ 価格 (仕入安く、販売適性)

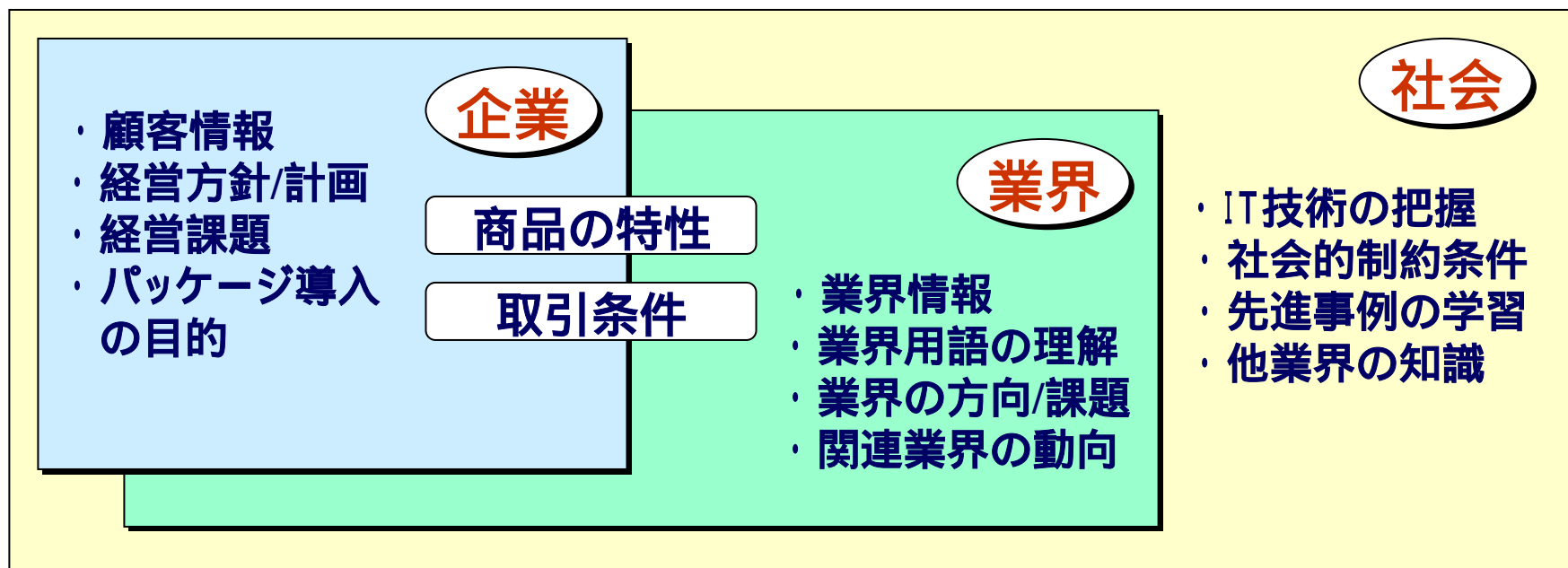
顧客サービス - - **顧客からの満足を得て、企業の信用を高める。**

- ・ 価値のある商品の開発、提供
- ・ 欠品の撲滅、保守サービスの充実

業務の効率 - - **必要な費用で最大の業務効率をあげる。**

- ・ 費用の抑制 (生産・物流・販売・管理部門……)
- ・ 目標・計画の達成とのバランス

7. 企業の業務と業界・社会



企業 (= 顧客) の事実を知る、把握する、理解する。

業界における企業の位置・方向性をおさえる。

社会の動向・制約条件との関係を理解し、生かす。